

平成 29 年度 放射線管理講習会 開催記

神奈川県放射線管理士部会
(横須賀市立市民病院) 田島尚人

平成 29 年 10 月 1 日(日)、川崎市立多摩病院にて、「平成 29 年度 放射線管理講習会」を開催いたしました。

主催は神奈川県放射線管理士部会、共催は神奈川県核医学研究会、神奈川県放射線治療技術研究会、後援は(公社)神奈川県放射線技師会、(公社)日本放射線技術学会・関東支部、日本放射線公衆安全学会、日本放射線治療専門放射線技師認定機構、日本核医学専門技師認定機構、(特)日本核医学技術学会による開催です。

医療法等、現場で実際に関係する各種法令を踏まえ、より現状に則した放射線管理の実践に役立つ内容となるように準備いたしました。

講演の内容としては、午前の部に原子力規制庁 長官官房放射線防護グループ放射線規制部門 宮本大氏を講師に「最近の放射線安全行政の動向について」「第 1 章安全水準の向上に向けて」、「第 2 章法令改正の検討状況」と題して、放射線障害防止法の概要や規制内容、過去のトラブル事例等を踏まえた対応策、法律改正、施行規則改正の概要についてご講演いただきました。午後の部は「MRI 室への磁性体持ち込みに対する安全管理について」横須賀市立市民病院 放射線技術科 加々美充氏を講師にゾーンニングによる領域分けや識別カードによって人員分けした MRI 室における安全管理についてご講演いただきました。続いて「JCI 認定施設における RIS を利用した放射線治療部門の患者安全管理について」埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 松田恵雄氏を講師に、国際的な病院機能評価機構である JCI の認証を大学病院として国内で初めて取得した施設として JCI に基づく患者安全管理についてご講演いただきました。最後に川崎市立川崎病院 放射線管理室 小野欽也氏を講師に「大規模災害が発生したとき診療放射線技師に何ができるか～過去の経験が無駄にしないために～」と題して、福島第一原発 ER 派遣のことや熊本地震に対して JART として初めて大地震時に支援活動を行ったことなど、実際にご自身が経験された事を踏まえて原子力災害対応医療体制についてご講演いただきました。

講師の方々には充実した内容の講義を行っていただき長時間の講習会でしたが、参加者の皆様には最後まで聴講をして頂きました。本講習会で得た内容を少しでもご自身の施設で役立てて頂けたらと思います。今後も、神奈川県放射線管理士部会は、参加者の皆様の日々の放射線管理に役立つ企画と活発な意見交換を行っていきたいと思います。聞いてみたい講演、演習したい内容、企画、講師等ご意見・ご要望がございましたら、神奈川県放射線管理士部会 <http://krsv.umin.jp/> まで、ご連絡いただけたら幸いです



平成 29 年度 放射線管理講習会

日 程 : 平成 29 年 10 月 1 日 (日) 10 : 00 ~ 16 : 00

会 場 : 川崎市立多摩病院 講堂

神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-30-37